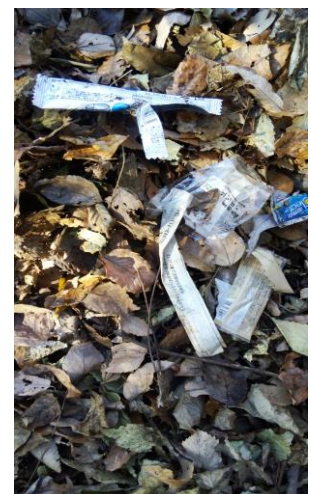


〈落ち葉を活かす〉

畑に行く途中の坂道に落ち葉がいっぱい溜まっている。このままなんの役にも立たずに燃やされてしまうのは勿体ないなと思いながら何もできずに通っていた。道路が狭いのでこんなところで落ち葉掃きをしていたら事故に遭いかねない。泣く泣く諦めていた。が、一か所、軽トラを止めるスペースがあったので車に気を付けながら落ち葉を集めた。タップリ溜まっているので箕ですくえば簡単に集まる。袋に入れては足で踏みつける、これを何度も繰り返して角型の袋にギュウギュウ詰めて2つ分集めた。これだけ集めたのに道路わきには何事もなかったかのように、まだまだ山ほどの落ち葉がたまっている。これ以上集めても置く場所がないので、ここでおしまい。全体から見れば微々たるものだが、ちょっとだけでも畑の役に立てばいい。落ち葉がそのまま燃やされてCO₂として排出されてしまうより、堆肥となって“循環”してくれたら嬉しい。落ち葉だって、本来そういう役割を知っていて落ちているのだから。



落ち葉の中にはゴミがいっぱい落ちていた。分解しないプラゴミは循環しない。人間が循環のサイクルを断ち切った悲しい産物だ。



〈落ち葉堆肥として使えるのはずーっと先〉